

中間整理案（骨子）

未定稿

【戦略の考え方】

先に示したように、副首都としての役割を果たす上で、大阪は既に一定のポテンシャルを有している。これらのポテンシャルを踏まえ、大阪自らが副首都に必要な「機能面」「制度面」での取組みを進めることにより、2020年頃を目途に、副首都としての基盤を整える。この自らの取組みを推進力として、副首都化の取組みを支援する仕組みを国に働きかけ、副首都の確立を図る。並行して、世界で存在感を発揮する東西二極の一極、日本の未来を支え、けん引する成長エンジンとなる「副首都」として発展を遂げるためには、グローバルな競争力を向上させることが必要。そのため、副首都圏となる京阪神や関西全域までも視野に入れつつ、「経済成長面」での取組みを進めていく。

副首都として必要な機能を整える（機能面）

既に一定のポテンシャルを有しているが、2020年頃を目途に、ハード（空港・港湾・交通など）・ソフト（特区など）の両面において機能の充実を図り、国内の他の大都市よりも副首都に必要な機能が充実していること、非常時には首都の機能を担う能力もあることを明らかにする。

副首都として必要な制度を整える（制度面）

2020年頃を目途に、副首都にふさわしい新たな大都市制度への改革を行うとともに、できるだけ早期に、国が副首都の必要性を認識し、その取組みを支援する仕組みが実現されるよう働きかけを行う。

持続的な経済成長を実現（経済面）

副首都として発展を遂げるため、機能面・制度面の基盤整備と並行して、グローバル競争力の強化に取り組む。これらを通じて、大阪・関西の発展を加速し、「東西二極の一極」「日本の成長エンジン」の役割を果たす。

【副首都に必要な機能面での取組み】

<ハード面>

都市インフラの改善充実

- ・ストックの組み換えによるインフラ充実、関空コンセッション など

基盤公共機能の高度化

- ・消防・危機管理、港湾等の機能強化 など

<ソフト面>

規制改革や特区による環境整備

- ・税制等によるビジネス環境の充実 など

産業支援・研究開発体制の充実

- ・スーパー公設試 ・企業支援機能の強化 など

人材育成環境の充実

- ・府立大学と市立大学の統合 ・公設民営学校（バカロレア対応）の設置 など

文化創造・情報発信の基盤形成

- ・大阪観光局の機能強化（DMO） など

【副首都に必要な制度面での取組み】

大都市制度の改革

基礎自治機能の充実、広域機能の充実

国機関の移転等の働きかけ

副首都化の取組みを支援する仕組みの働きかけ

大阪自らの取組みにより副首都としての基盤を整え、副首都を確立する。

【副首都として発展するための経済成長面での取組み】

健康・長寿を基軸とした新たな価値の創出

世界トップクラスのライフサイエンスクラスター

新たな拠点の形成（健都、再生医療国際拠点）、PMDA等の機能強化 など

ものづくり基盤を活かしたイノベーション促進

健康・医療関連の研究開発推進、AIやロボット、バッテリーなどのリーディング企業の集積促進 など

世界水準の都市ブランドの確立

世界に誇れる都市空間の創造

うめきた2期や中之島などのまちづくり、空港・港湾・道路・鉄道等の充実・利便性の向上 など

世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市の確立

戦略的な観光プロモーションの推進、統合型リゾート（IR）の立地促進、大学と連携した拠点形成、文化創造・情報発信 など

内外から多様なプレーヤーが集い、活躍する場の創出

多様な人材が活躍できるオープンでチャレンジングな環境整備

特区制度の活用、オープンイノベーションの環境充実、大学（アカデミア）の知の社会実装など

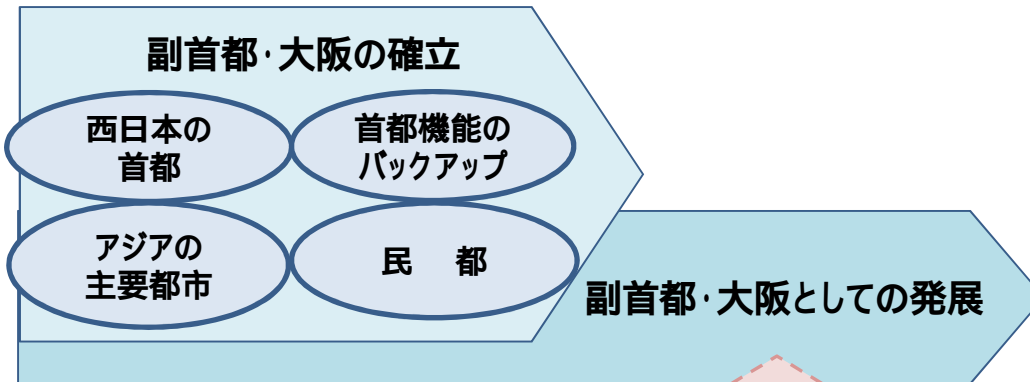
民間活動促進の仕組みづくり

フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化、民間活動を促進するための規制改革、公民連携の強化 など

東京と異なる個性・新たな価値を発揮し、副首都としての発展を加速

【その先にあるもの～副首都として発展する未来の大阪～】

「西日本の首都」「首都機能のバックアップ」「アジアの主要都市」「民都」の4つの役割を果たす副首都・大阪は、現在誘致を進めている2025年の万博のレガシーも活かし、グローバル社会の中で、日本の成長、世界の課題解決に貢献しつつ、府民・市民が豊かで、利便性の高い都市生活を実現。



副首都・大阪の発展を加速する起爆剤として活用

- ・イノベーションの創出
- ・インフラ整備の促進
- ・世界への発信・世界との交流

2025 日本万国博覧会

テーマ

人類の健康・長寿への挑戦

～世界から知を集め、
未来社会に向けた行動を呼びかける～

**人類社会の発展に貢献する
“新しい国際博覧会”**

開催前の「知の創造」、開催時の「知の結集」、開催後の「理念の継承」で、世界的規模で“健康への挑戦”を誘発

【大阪の未来像】

世界の中の大阪
～世界が注目する

産業・文化・サイエンスの拠点～

大阪・関西が有する産業、文化、サイエンスの幅広く厚みのあるポテンシャルが花開き、世界中から企業や人材を惹きつけ、集客を促すブランド力となってグローバルな都市間競争に打ち勝つ。

日本の中の大阪

～スーパーメガリージョンの西の核～

リニアの大阪開業によって形成される世界最大のスーパーメガリージョンの中で、大阪を中心とする副首都圏は独自の経済、文化を発展させ、東京と並びたつ存在感を発揮する。

住民にとっての大阪

～豊かで、利便性の高い都市生活

世界最先端のイノベーションの成果によって、健康長寿の実現をはじめとする社会の様々な課題解決を図るとともに、持続的な経済成長の果実によって安全安心の確保、豊かで利便性の高い生活環境を実現する。